

ACC マーケティング・エフェクティブネス部門
審査委員長メッセージおよび、審査委員紹介

■審査委員長

矢野 絹子 (KDDI/コミュニケーション本部 宣伝部 部長)



【審査委員長メッセージ】

全体的にエントリー作品のレベルが上がり、手法も多様化して難しい審査でしたが、アドバタイザー・クリエイター・マーケターの視点を戦わせ、渾身の20作品を選ぶことができました。

定番商品の再活性化、新事業創出、地域活性化等、各チームが直面する様々な課題に真摯に向き合い、自分達が目指すエフェクティブネスにチャレンジしていたと思います。

切れ味ある戦略と、新鮮なクリエイティブの掛け算で、いかにエフェクティブネスを達成したのか、ファイナル進出チームのプレゼンテーションを楽しみにしています。

■審査委員

上野 隆信 (大塚製薬/ニュートラシューティカルズ事業部 宣伝部 課長)

幼方 聡子 (東レ/宣伝室長)

大越 いづみ (電通 ビジネス・クリエーション・センター/
エグゼクティブ・ビジネス・クリエーション・ディレクター)

大高 香世 (VoiceVision/代表取締役社長)

木下 一郎 (電通/エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)

小和田 みどり (ライオン/宣伝部長)

清水 健 (アサツー ディ・ケイ/エグゼクティブ・クリエイティブディレクター、コピーライター)

能登 健裕 (東急エージェンシー/エクスペリエンス クリエイションセンター 副センター長、
エグゼクティブ・クリエイティブディレクター)

藤井 久 (博報堂/執行役員(クリエイティブ担当))

山口 有希子 (日本アイ・ビー・エム/マーケティング&コミュニケーション
デジタルコンテンツマーケティング&サービス 部長)

以上